

オウトウの安定生産のための 人工受粉の時間帯と防風対策

オウトウの結実の不安定な要因の一つとして、開花期の風の影響が考えられます。そのため、結実に対する風の影響の有無を把握するとともに、人工受粉が効果的に行える時間帯を明らかにしました。

☆技術の概要

1. オウトウの花（佐藤錦、紅秀峰）の柱頭は、早朝から日没後まで花粉付着が可能です。風が穏やかであれば、終日人工受粉による結実効果が認められます（表1）。
2. 風を弱めるような対策を講じることによって、柱頭への花粉の付着性は向上します（図1）。

表1 人工受粉の時間帯別結実率（2014年）

品種	受粉時間	花数	結実数	結実率%
佐藤錦	6時	1201	189	15.7
	11時	1100	177	16.1
	16時	1186	156	13.2
	20時	1090	149	13.7
紅秀峰	6時	1270	259	20.4
	11時	1202	379	31.5
	16時	1248	346	27.7
	20時	1381	395	28.6

- * 前年採取した「紅さやか」の貯蔵花粉（発芽率40%程度）を梵天で人工受粉しました。
- * 寒冷紗の外側でミツバチ受粉のみ人工受粉未実施区の結実率は、「佐藤錦」10.3%、「紅秀峰」14.7%。
- * 雨よけテント施設周囲に防風ネットを設置した圃場で実施しました。

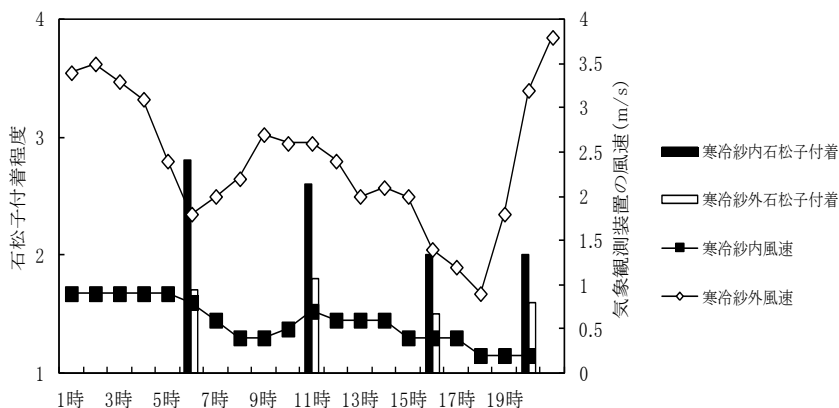


図1 寒冷紗被覆による時間帯別の平均風速と「佐藤錦」柱頭の石松子付着程度（2014年5月4日）

- * 雨よけテント施設周囲に防風ネットを設置した圃場で実施しました

☆活用面での留意点

1. 本試験は樹勢が中程度の「佐藤錦」（アオバ台）、「紅秀峰」（コルト台）を使用し、前年採取した発芽率40%程度の「紅さやか」の貯蔵花粉（蒴殻付き）をほぼ倍量に希釈して用いた結果です。
2. オウトウの花に朝露が付いていたり、防除直後や小雨で花が濡れていると、受粉効率が劣るため、人工受粉は花が乾いている状態で行って下さい。
3. 詳細については、山形県庄内総合支庁産業経済部農業技術普及課・産地研究室（電話：0234-91-1250）にお問い合わせください。

（農研機構 果樹茶業研究部門 企画管理部 和田雅人）